



C S R 報告書 2 0 2 5

株式会社 **デンソートリム**
DENSO TRIM CORPORATION

目次

1. 会社概要	2
1-1. 会社概要	
1-2. トピックス	
2. 社長メッセージ	4
3. 製品概要	5
3-1. 二輪製品	
3-2. 四輪製品	
4. デンソートリムのCSR	7
4-1. 基本的な考え方	
4-2. デンソグループサステナビリティ方針	
4-3. デンソグループ社員行動指針	
4-4. デンソグループスピリット	
5. 社会性報告	9
5-1. 社員とともに	
5-2. 地域・社会とともに	
6. 環境報告	20
6-1. デンソートリム環境方針	
6-2. 環境推進体制	
6-3. 環境行動計画	
6-4. 法規順守状況	
6-5. 生産環境負荷低減	

本社敷地全景

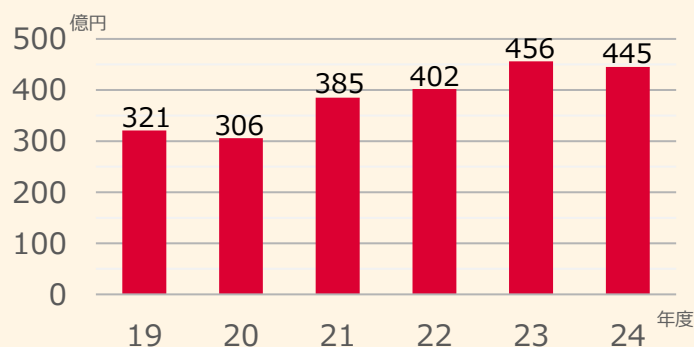


1. 会社概要

1-1. 会社概要

社 名	株式会社デンソートリム
所 在 地	〈本社/本社工場〉 〒510-1222 みえけん みえぐん こものちょう おおごはら あかさか 三重県三重郡菰野町大強原赤坂2460 〈大安工場〉 〒511-0296 みえけん いなべし だいあんちょうもんぜん 三重県いなべ市大安町門前1530 (株式会社デンソー 大安製作所内)
設 立	1990年3月30日
操 業	1991年11月2日
代 表	取締役社長 水野 功
資 本 金	3億1千万円
従 業 員 数	1159名(2025年3月末現在)
事 業 内 容	・二輪車用発電装置 ・電子式エンジン制御装置 ・ハイブリッド車用電池監視装置 ・デジタルキーアンテナ ・燃料ポンプ制御装置 ・灯火制御装置 ・排気センサ/排気温センサ ・PTC素子応用製品 ・EGRガス温センサ ・クランク角センサ などの製造

売 上 高



1 - 2. トピックス

関連するSDGs



(1) 当社所属アーチェリー選手の入社

TOPIC

2024年4月1日付で、株式会社デンソートリム（以下当社）所属のアーチェリー選手 眞弓 怜奈（まゆみ れな）が入社しました。当社は地域貢献の一環として、アスリートの採用を積極的に行っており、これまでに2名のアスリート（社外チーム所属）を採用しています。今回、当社所属のアスリート選手の採用は初めてのこととなります。アスリートの活躍にご期待いただくとともに、温かいご声援をよろしくお願いいたします。



入社式の様子

(2) 太陽光発電開始セレモニー

TOPIC

2024年7月1日に、本社工場・技術棟・モノづくり棟の屋上に設置した自家消費型太陽光発電システムの稼働を開始しました。当日は協力会社である株式会社シーエナジー様、株式会社アクト様にお越しいただき、太陽光発電の開始を祝してセレモニーを実施しました。



セレモニーの様子

(3) シートベルト推進モデル事業所任命

TOPIC

2024年12月11日に、四日市西警察署様から「シートベルト推進モデル事業所」に任命されました。この任命は、私たち従業員が日々の業務を通じて交通安全の重要性を理解し、実践していることが評価された結果です。今後も四日市西警察署様との連携を深め、交通安全意識の向上を図っていきます。



指定書

(4) 「健康経営優良法人2025（大規模法人部門（ホワイト500））」認定

TOPIC

2025年3月10日に、健康経営優良法人2025（大規模法人部門（ホワイト500））に認定されました。なお、ホワイト500の認定は今回が初めてとなります。今後も「健康優良法人」としての名に恥じぬよう、社員一人ひとりとその家族が心身ともに健康であり続けられるようにサポートを行っていきます。



2. 社長メッセージ



当社はデンソーグループの一員として、二輪車用発電機や二輪・四輪車用エンジン制御製品、電子製品の開発・設計・生産を担い、多岐にわたるバイクや自動車に部品を提供しています。2025年度からは交通死亡事故ゼロのモビリティ社会実現を目指した関連事業として、二輪車用エアバッグセンサなどの生産も開始しました。

デンソーグループは「世界と未来をみつめ、新しい価値の創造を通じて人々の幸福に貢献する」を会社の使命とし、全ての従業員がグローバル企業としてふさわしい行動を実践できるように「デンソーグループサステナビリティ方針」を定め、実行しています。当社もこの方針に従い、日本国内外での企業活動を通じて、新たなモビリティ社会の持続的な発展に積極的に貢献していくことを考えています。加えて、当社はデンソーグループで三重県に本社を置く唯一の生産会社として、地域に根付き、地域と共生し、貢献を拡げることが大切に企業活動を継続していきます。

また、環境面では、地域の特性を活かして地下水を利用し、工場内の室温を低減することで空調負荷を抑え、省エネを促進しています。さらに、2024年度からは社屋の屋上に太陽光発電システムを設置し、創エネを開始しました。これらの取り組みにより、工場全体のカーボンニュートラルの実現を目指しています。

健康経営については、従業員の健康管理を最優先と考え、「健康経営優良法人」認定を取得し、2024年度には、特に優れた企業として「ホワイト500」に選ばれました。

今後も、社会、地域、お客様、関係会社、そして従業員の皆様に喜ばれる企業づくりを進めて参ります。皆様のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

2025年5月
株式会社デンソートリム
取締役社長

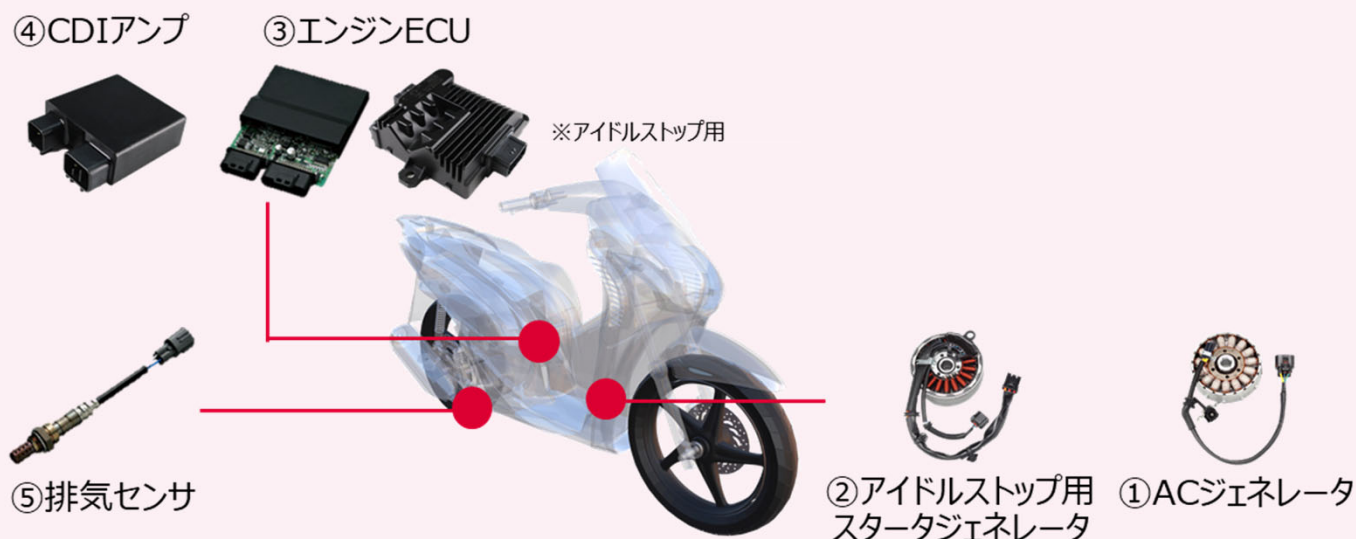
水野 功

3. 製品概要

当社設立のきっかけとなった二輪車用ACジェネレータ（交流発電機）は、会社設立以来作り続けており、研究・開発から製造まで一貫体制で生産しています。

現在では、「エンジンECU・ランプECU・ハイブリッド車用制御装置」などの電子製品や、「O2センサ」などのセラミック製品も担当し、二輪車・四輪車などに欠かせない製品を生産しています。

3-1. 二輪製品



永久磁石を用いた、二輪車用発電機であり、電気を電装部品に供給し、かつバッテリーに充電するために必要な製品です。加えて、エンジン回転を安定させるフライホイール機能を持ち、エンジンの最適制御を可能とする独自技術の突起を備え、OBD2規制対応に貢献しています。

- ① ACジェネレータ … また世界各地で材料を現地調達しており、部品輸送のCO2排出低減に寄与しています。近年、固定子のコイルにアルミ線を採用した発電機を独自開発し、軽量化にも貢献しています。

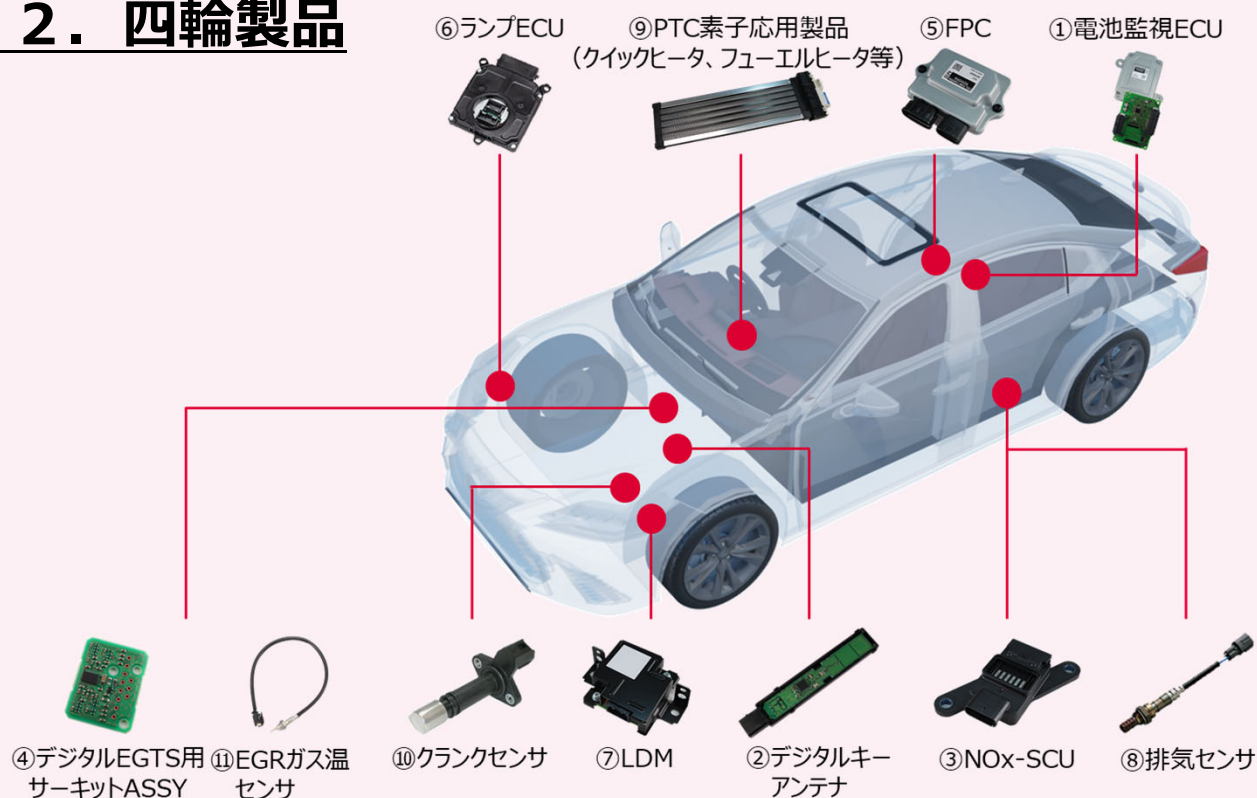
- ② アイドルストップ用スタータジェネレータ … ACジェネレータに、エンジン始動のスタータ機能を追加した製品です。エンジン直結でブラシレスのため、摩耗部がなく、始動が早く、静音性に優れています。二輪では希少なアイドルストップを可能とし、低燃費化に貢献しています。また、回転子は接着剤を用いない構造としており、加熱硬化を廃止した環境に配慮できる製品です。

- ③ エンジンECU … 燃料をエンジンにタイミングよく、そして最適に噴射するために電子制御を行います。燃焼をコントロールすることでエンジン本来の性能を高め、高出力化、燃費向上、クリーンな排気を実現します。

- ④ CDIアンブ … エンジン回転数に応じてエンジンの点火時期を適正に制御する二輪車用電子制御装置です。燃費向上と排気ガスのクリーン化に貢献します。

- ⑤ 排気センサ … 排気ガス中の酸素（O2）濃度を検出するセンサです。排気ガス中の酸素濃度により、コンピュータ（ECU）で最適なエンジン燃焼状態に制御し、排気ガスの低公害化を図ります。

3-2. 四輪製品



- ① 電池監視 ECU ... ハイブリッド車の電池ユニットの電圧、電流、温度を監視する電子制御装置です。HV-ECUに監視情報を伝えます。
- ② デジタルキー アンテナ ... スマートフォンで車の施錠や解錠をするBLE（Bluetooth Low Energy）電波を受信するアンテナです。車格や用途に応じ、システム機能を層別。高機能モデルではスマートフォン操作不要でドアの開閉が可能となります。
- ③ NOx-SCU ... 車両から排出される有毒なNOxを検知するセンサが組み込まれた電子制御装置です。車両から排出されるNOx排出量を低減させ、厳しい排気ガス規制に対応する事で地球環境保全に貢献します。
- ④ デジタルEGTS用サーキットASSY ... 車両から排出される排気ガスの温度センサを組み込んだ電子制御装置です。エンジンからの排気経路にセンサを配置する事で、省燃費に貢献します。
- ⑤ F P C ... エンジンへの燃料供給量を制御する電子制御装置です。エンジンECUからの信号により燃料ポンプへ最適な燃料を供給し燃費向上に貢献します。
- ⑥ ランプ ECU ... LEDヘッドランプの点消灯制御と光軸制御を行う電子制御装置です。夜間走行の視認性を大幅に高め、省エネに貢献しています。
- ⑦ L D M ... LEDヘッドランプの明るさを一定に制御する電子制御装置です。夜間走行の視認性を確保し、省エネに貢献しています。
- ⑧ 排気センサ ... 排気ガス中の酸素（O2）濃度を検出するセンサです。排気ガス中の酸素濃度により、コンピュータ（ECU）で最適なエンジン燃焼状態に制御し、排気ガスの低公害化を図ります。
- ⑨ P T C 素子 応 用 製 品 ... 自己温度制御特性を有したセラミック素子（PTC素子）が組み込まれたヒータです。自動車用エアコンユニット内に搭載され、エンジン水温が低い状態でも車室内を素早く暖め、快適な空間を提供します。
- ⑩ クランクセンサ ... エンジン回転数とクランクシャフトの角度位置を検出するセンサです。エンジン制御ECUが最適な点火時期制御、燃料噴射量制御等を実施できる状態にします。
- ⑪ E G R ガ ス 温 セ ン サ ... 温度と相関のある抵抗値を示すセラミック素子が組込まれた温度センサです。車の排気ガス中の窒素酸化物低減の為に、排気ガスの一部を吸気側へ再循環させるEGRシステムにおいて、再循環させた排気ガスの温度をモニターします。

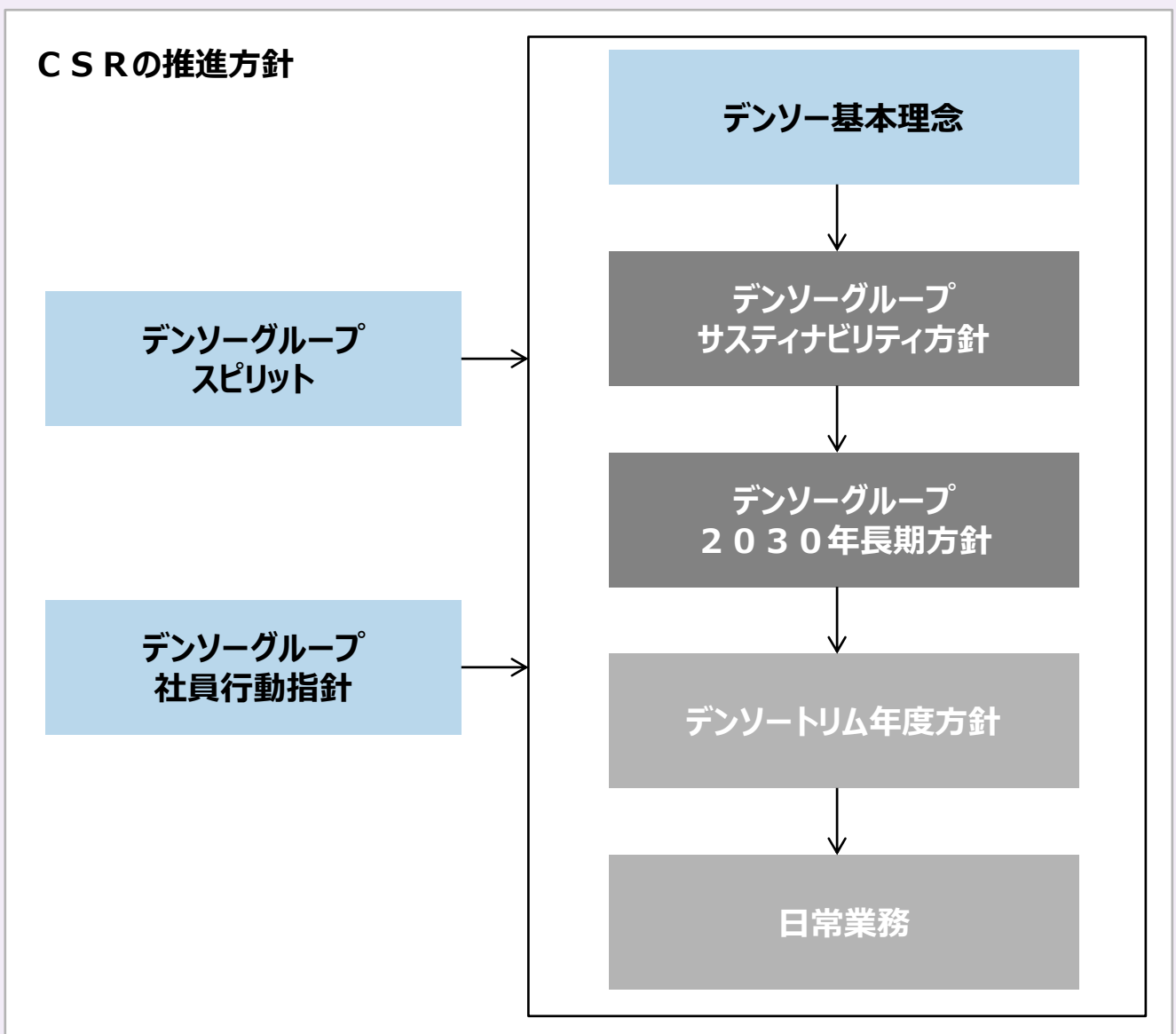
4. デンソートリムのCSR

4-1. 基本的な考え方

デンソーグループは、「世界と未来をみつめ、新しい価値の創造を通じて人々の幸福に貢献する」を会社の使命としています。この使命を実現するには、多くのステークホルダーと価値観を共有しながら連携・協力していくことが不可欠であり、その基盤となるのが「社会から信頼・共感される企業行動」です。

これを世界中で事業活動を行うデンソーグループ各社が実践していくため、2006年4月に「デンソーグループ企業行動宣言」を策定し、ステークホルダーへの責任を明らかにしました。さらに、2018年12月には「デンソーグループサステナビリティ方針」へと改定し、社会の持続的発展へ率先して貢献していくことを宣言しました。このように、デンソーグループはCSR（企業の社会的責任：Corporate Social Responsibility）を経営の中核に据え、事業活動を通じた持続可能な社会づくりへの貢献に取り組んでいます。

そして、2017年に策定された長期経営方針「デンソーグループ2030年長期方針」を受け、私たちデンソートリムはデンソーグループの一翼を担う企業として、デンソーグループ企業行動指針に基づき、計画と目標を立てCSR活動を推進しています。



4－2．デンソーグループサステナビリティ方針

デンソーグループは、「世界と未来をみつめ、新しい価値の創造を通じて人々の幸福に貢献する」を会社の使命としています。この使命を達成するために、デンソーグループの全ての従業員が、グローバル企業としてふさわしい行動を、社会やステークホルダーとのつながりの中で実践できるよう、「デンソーグループサステナビリティ方針」を定めました。

【宣言文】（抜粋）

私たちは、社会の持続的な発展に率先して貢献します。

- （１）変化を先取り、技術や生産方法あるいは組織、マネジメントなどの変革を通じて、社会に有用かつ安全な商品・サービスを開発、提供し、社会的課題の解決に努めます。
- （２）国の内外において、関係法令、国際ルールとその精神を順守し、各国・地域の文化・歴史を尊重しつつ、高い倫理観をもって、健全かつ公正な事業活動に努めます。
- （３）労働時間、休日、賃金などの基本的労働条件に関する各国・地域の法令を順守するとともに、健康と安全に配慮した働きやすい職場環境の維持・向上に取り組みます。
- （４）社会との共生をめざし、事業活動を行うあらゆる国・地域において、独自にまたはパートナーと協働しながら積極的によりよい社会づくりに参画し、その発展に貢献します。

4－3．デンソーグループ社員行動指針

社員一人ひとりがデンソーグループの一員として、各ステークホルダーに対してどのような心構えで、どのような行動をとるべきか、そのガイドラインを示したものです。社員一人ひとりが社会に果たす役割を常に意識して行動するよう、指針の浸透を図っています。

項目

- I．デンソーグループの一員として
- II．生き生きとした職場を目指して
- III．あらゆるお客様の信頼と期待に応えるために
- IV．仕入先との共存共栄を目指して
- V．株主の信頼と期待に応えるために
- VI．社会と共生するために

4－4．デンソーグループスピリット

真のグローバル企業として成長・発展するために、グループ全体で共有すべき価値観や信念を明示したものです。

企業成長の原動力は「先進」「信頼」「総智・総力」

デンソーグループスピリットは、創業以来、暗黙知として連綿と継承されてきた「先進」「信頼」「総智・総力」の考え方を2004年に明文化し、あらゆる分野で取り組みを推進する原動力として機能するため、17カ国語に翻訳し、グローバルな共有に注力しています。

5. 社会性報告

5-1. 社員とともに

関連するSDGs



(1) 社員教育

①基伝館（社内教育訓練道場）

モノづくりに必要な知識・技能を習得する場として、モノづくり棟2階に設けられています。座学（OFF-JT）と実技訓練（ON-JT）を実機・実践に近い形で、新入社員はもとより中堅・職制まで全員を対象に、教育、研修、各種検定訓練、試験を開催し、人財育成を推進しています。

②階層別教育・職能別教育（全社的に推進する教育）

目指す人財を「自ら学び、自ら考え、挑戦し続ける人財」とし、教育を行っています。特に、グローバル対応力強化のためのメニュー作りを強化しています。階層別教育では、役職階層および管理推進業務指名者に必要な役割意識、意欲の向上、管理手法の習得を図る教育を行い、職能別教育では、各職能に必要な専門知識・能力向上を図る教育を実施しています。

	階層別教育 マネジメント	職能別教育 事務分会	職能別教育 技術分会	職能別教育 技能分会
管理職	・LEMS ・部門長特訓スクール ・課長研修		・新任課長品質 ・新任課長特許	・専門分野管理者教育（TIE、TPM等）
指導級	・課題形成能力向上 ・MBC研修 ・リーダー育成研修 ・班長教育		・新任係長品質 ・新任係長特許	・高度技能研修 ・職長教育 ・TIE/PM 上級 ・品質管理 上級
中級	・MTP研修 ・現場力を高める ・4等級研修 ・課題発表 ・中堅社員研修	・5等級研修報告会 ・コミュニケーション系教育	・技術検定 ・SQC実践活用 ・原価と原価管理 ・特許中級	・基礎技能研修 ・各種安全衛生資格講習 ・TIE/PM 中級 ・品質管理 中級
初級	・問題解決 ・若手社員研修 ・働く心構え ・フォロー研修	・製品知識 ・業界知識 ・原価基礎 ・トヨタ生産方式	・テクニカルスキル研修 ・品質 ・コストエンジニアリング基礎 ・特許基礎	・TIE/PM 初級 ・品質管理 初級 ・異常処置 ・職場の基本

③QCサークル

創業時より活動しているQCサークル活動は、サークルメンバーの能力向上や自己表現、明るく活気に満ちた働きがいのある職場づくり、お客様満足度の向上および社会への貢献を目指しています。QCサークル三重地区登録企業213社の準幹事会社として、各社が集うサークル活動研修会の講師や発表会の講評などを担い、サークル活動の普及・支援に貢献しています。社内活動では、2024年度には68サークル計608名がQC手法などを学び、活用しながら管理・改善に取り組んでいます。24年度からは若手社員の基礎知識向上を目的に、体験型研修会の社内開催を導入し、サークルメンバーの能力強化を図り、活動の成果を社内大会で発表するなど、活発なQCサークル活動を推進しています。また、QC三重地区・東海地区主催の社外大会にも積極的に出場し、「石川馨奨励賞」をはじめとした数々の受賞経験があります。



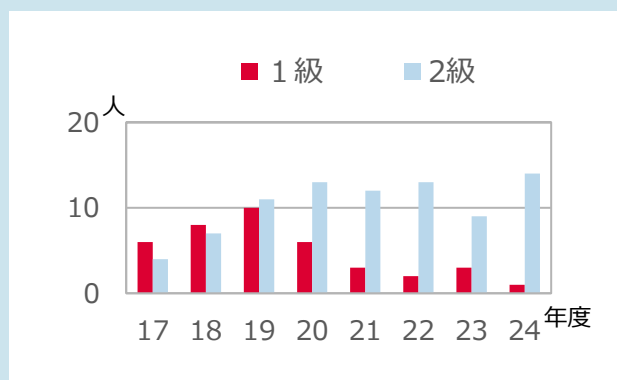
QCサークル三重地区主催研修会
(研修会講師などの活動支援)



社内研修会
(だるま落としを通じてQCの基礎を学ぶ体験学習)

④社内技能検定

当社では2017年より高度技能集団企業を目指し、社内検定制度を整備・運用しています。この制度は、当社のモノづくりに必要な実技試験【機器組立、計測、設備診断（1級）】、品質チェック（2級）と学科試験を設定し、すべての試験に合格した社員を製品製造装置オペレーターとして資格認定する仕組みで、社員の技能を切磋琢磨し継続的に高めていこうとしています。本制度は、厚生労働省より特に技能振興上奨励すべきものとして認定され、「厚生労働省社内検定認定制度」に登録されました。さらに、当社から三重県に働きかけて「三重県技能評価認定制度」が創設され、2020年には当社社内検定制度が三重県の認定第一号を取得しました。これにより、合格証に三重県知事名が記載されることとなり、2021年度には一見勝之知事名入りの合格証が授与されるようになりました。24年度には1級1名、2級14名に授与されました。



社内検定認定者数推移



検定試験の様子

⑤二輪道場（バイク教室）

二輪車（バイク）用部品の開発・設計に携わる従業員の知識・技能向上を目的として、2018年に技術棟内に二輪道場を開設しました。道場では、2018年から定期的に二輪車用部品の開発・設計に携わっている社員が参加する「バイク教室」を開講しています。参加者は自分たちの手で実物の二輪車を分解・再組み立てをしたり、システム動作を確認するなどして、二輪車の構造に関する見識を深めています。2024年度までに延べ78名がこの教室を受講しており、今後も順次、技術系の社員を中心に受講を進めていく予定です。



バイク教室の様子

⑥安全小集団活動（安全サークル）の開始

TOPIC

災害ゼロを目指し、働く仲間が「安心」「安全」に仕事に従事できるよう、日々安全活動を推進しています。2024年10月からは新たな活動として「全員参加の安全小集団活動」を開始しました。（安全サークル；最小職場単位の編成で全社「99サークル」を発足）管理者は安全巡回を実践するものの、「実際の作業担当者しか知らない危険箇所」や「ごく小さなヒヤリ・ハットした経験」を100%把握することは難しいです。これに対して、各職場に潜む危険の根を徹底的に掘り起こし、「危険の根を断つ」活動として、一人ひとりが「問題を提起できる場」や「その対策を全員で考える機会」を設けています。メンバーが実際に改善に参画することで、危険に対する「感性を磨き、感度を高め」、災害発生の未然防止を目指しています。この活動を通して、「自分の身は自分で守る」という全社員の安全意識をさらに磨いていきます。

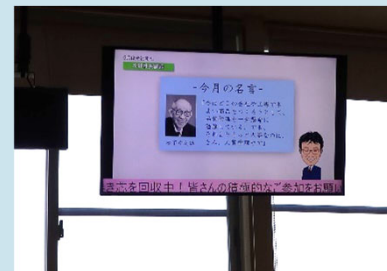


サークル活動の様子

(2) コミュニケーション

① 全社朝礼

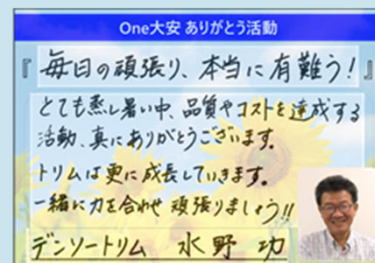
毎月第一稼働日に全社朝礼を実施しています。従業員数の増加や通信環境への配慮から、自席や職場で聴講する形で行っています。当日の夜勤者や聴覚障がい者にも内容を伝えるため、全社朝礼のダイジェストを各職場やサイネージ（大型液晶パネル）で展開しています。



全社朝礼ダイジェスト動画配信
(本社食堂)

② ありがとう活動

従業員一人ひとりの嬉しさや職場の士気向上・活性化、コミュニケーション向上につなげる企画として、社長からの感謝を「メッセージカード」にして全従業員へ配付しました。カードの裏面は、構内売店で交換可能な飲み物・食べ物の引換券となっています。



メッセージカード

③ 社員親睦

より良い職場環境を築くため、社員同士や社員と経営層との親睦を図る場を積極的に設けています。これらは、係長以下の全従業員で構成される「従業員会」が中心となって運営しています。



スポーツ大会

- 6月 親睦ウォーキング
- 7月 セタフォトコンテスト
- 9月 グリーンフォトコンテスト
- 10月 ONE大安レクリエーション
- 11月 スポーツ大会
- 12月 従業員への感謝プレゼント
- 1月 手作り門松設置
- 1月 20歳を祝う会



20歳を祝う会 本社工場



20歳を祝う会 大安工場

④ 永年勤続表彰

勤続20年、30年を迎え、長く会社に貢献している従業員の労をねぎらい、さらなるモチベーションアップにつなげるため、創立25周年を迎えた2015年より永年勤続表彰を毎年継続して行っています。2024年4月には、勤続30年を迎えた11名と勤続20年を迎えた17名を対象に、賞状と記念品が贈呈されました。



永年勤続20周年



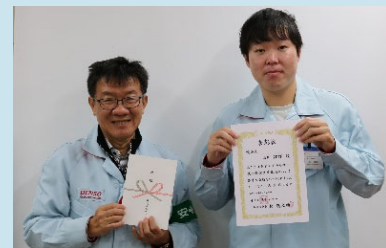
永年勤続30周年

(3) 社外表彰

①デンソー技術検定 優秀賞受賞

TOPIC

デンソー技術検定において、当社社員の山川が生産技術部門で優秀な成績を収め、優秀賞を受賞しました。優秀賞とは、その年に専門科目をすべて受検した合格者の中で、各職種総合得点の上位者(各職種受検者数の上位5%かつ原則総合点8割以上の得点)に与えられる賞です。デンソー技術検定とは、技術者が日頃の能力伸展の成果を自らはかる機会として設けられた検定です。



左:社長 水野 右:山川

②デンソー夢卵 2024 入選・出展

TOPIC

2024年11月30日および12月1日にデンソー本社で開催された「デンソー夢卵2024」において、当社社員・林の作品が全応募数4,727件の中から書類選考を通過し、20作品のひとつとして入選・出展されました。「デンソー夢卵」は、社員のアイデアを自ら形にし、その独創性・新規性・面白さを競うアイデアコンテストです。夢のあるアイデア創出と作品制作への挑戦を通じて、従業員の発想力および創造力の向上を図ることを目的としています。

製作者の声

夢卵2024において“液晶式アクティブサンバイザ”を出展・入賞いたしました。本作品は会社へ通勤している際に低い位置の太陽がまぶしいのに普通のサンバイザでは隠せない・何とかしたいという日常の困りごとからまぶしいところだけを隠すことができる装置があればという発想を経て応募しました。選考を通過した後は、どのような機器を選定し、どのような動作をすれば発想を具現化できるか検討しながら、機器を調達し、ハードウェアおよびソフトウェアの制作等を進めました。通常業務の隙間時間で実施することは大変ではありましたが、同時に発想が具現化されていき楽しくもありました。最終的には社内の専門家の力を借りつつも何とか形となり本番に臨むことができました。



出店作品



社内表彰式

(4) 防災救命（災害への備え）

コロナ禍が落ち着き、2023年度以降はコロナ前の通常の防災救命活動に戻してきました。コロナ禍で低下したと考えられる防災救命のスキルを底上げするため、2023年度から避難、消火、救護搬送などの各カテゴリーごとの動画教育と実践教育を取り入れ、各職場の防災救命リーダー(普通救命講習受講者)の指導のもとで全従業員へ継続しています。また、自衛防災隊メンバー向けの実放水訓練や救命救護実践教育も継続して実施しております。全社アンケートの結果、「実火への消火経験不足」から「消火器使用に不安」と回答した方が6割以上に上ったことを受け、2024年度より実際の炎に向かって消火器を使う実践的な消火器取り扱い訓練を菰野本社工場にて実施しました。10月の全社防災訓練では、屋外避難後の徒歩帰宅を想定した徒歩帰宅ルートごとに並び直す訓練も継続しています。



消火栓実放水訓練の様子



夜間防災訓練本部の様子



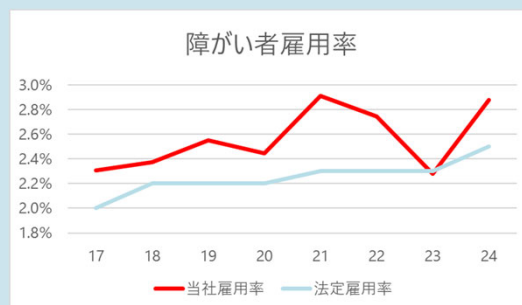
実火消火器訓練の様子

(5) 多様な人々が活躍できる職場づくり

当社は、ダイバーシティ推進を重要な経営戦略の一つと位置づけ、すべての従業員が長く活躍できるよう、さまざまな活動を推進しております。

①障がい者雇用

2024年度には法定雇用率が2.3%から2.5%に引き上げられましたが、当社の雇用率は2.9%となっており、多くの障がい者の方に支えられています。なお、聴覚障がい者の懇親会を年3回開催し、会社や職場への要望等を確認・対応しています。今後も定期的な開催を検討していきます。



②次世代育成の推進

仕事と育児の両立を支援するため、引き続き「法を上回る育児休業制度」を運用するとともに、2024年度から昼勤専従制度を新たに運用開始し、子育て世代がより働きやすい職場づくりを推進しています。制度や職場のサポートの結果、2024年度における男性育児休業取得率は89.7%となり、前年度と比較して大きく向上しました。なお、2025年度からは育児短時間勤務の勤務帯を1パターンから5パターンに拡充し、これまで以上に次世代育成を推進していきます。

③シニア社員の活躍推進

今後増加が見込まれるシニア社員がいきいきと働き、その豊かな経験と能力を最大限に発揮できる環境や制度の整備を推進しています。具体的には以下の取り組みを行っています。

- i ライフマネジメント研修（定年後の生きがい、健康、生活設計を50歳で考える）
- ii 振り返り研修（ライフマネジメント研修受講後5年で、生活設計を再度考える）
- iii ネクステージ面談（定年後の働き方を55歳から上司との面談を通じて考える）
- iv キャリアアソシエイト制度（60歳以降の活躍促進。意欲・能力のある方は役職を担う）
- v 65歳以降の雇用（個人スキルを有する方の指導員制度あり）

④テレワーク(在宅勤務)制度の導入

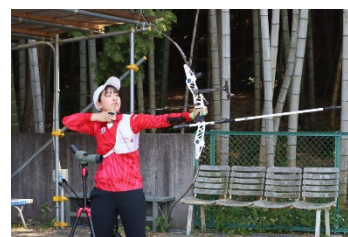
職業生活と家庭生活の両立に資する雇用環境の整備の一環として、テレワーク（在宅勤務）制度を導入しています。同制度の活用により、育児・介護・家事の時間を確保しながら働くことが可能であり、台風などの災害時でも通勤が不要なため、社員の安全を確保した上で、自宅で安全に業務を行うことができます。

⑤アスリート社員の活躍

当社は、三重県からの依頼を受け、地域貢献の一環としてアスリート社員を受け入れています。現在、アスリート採用者として1名（アーチェリー女子）を、一般社員として競技支援者（水球女子）を雇用しており、仕事と競技の両立を応援しています。

アスリート採用社員のコメント（アーチェリー女子）

競技に集中できる環境を頂けたことに心から感謝し、2028年のロサンゼルスオリンピックに出場できるよう日々精進していきたいと思っています。また競技活動以外でもデンソートリムの一員として会社や社会に貢献できるよう取り組んでいきたいと思っています。応援よろしくお願いいたします。



アーチェリー女子 眞弓

(6) 健康経営の取り組み（こころとからだの健康管理）

デンソートリムでは、経営理念にある「共に働く仲間一人ひとりが幸せで充実した人生になるように努力する」を実践するため、社員が健康第一でいきいきと働くことができるよう、健康増進活動を全社で推進しています。

2024年度の主な取り組みとして、以下の点を挙げます。

①健康スコアの設定

2024年度から国内グループ共通の健康経営指標である健康スコアを設定しました。健康スコアとは、健康診断時の問診回答内容に基づき、一人ひとりの「健康行動」の実践状況を見える化したものです。8個の評価項目（BMI、朝食摂取、間食、運動、睡眠、飲酒、喫煙等）のうち6項目以上の達成者割合を60%以上にする 것을目標に、グループ会社全体で従業員の健康行動の実践を推進しています。2024年度に実施した健康経営教育では、社長の健康経営メッセージとともにこの「健康スコア」をテーマに取り上げ、全従業員が受講しています。

②喫煙による健康障害防止

受動喫煙対策として2030年4月から敷地内全面禁煙に取り組むことを全従業員に発信し、それに向けて2024年度は毎月22日を禁煙デーに設定しました。また、5月31日の世界禁煙デーにちなみ、5月を禁煙支援強化月間とし、禁煙したい人と支援者がペアまたはグループになって禁煙に取り組むイベントを開催しました。3組が参加し、全組が期間内の禁煙を達成しました。しかし、従業員の喫煙率は約26%で、年々減少はしているものの、目標値である20%に対して依然高い状況です。今後も従業員への理解活動とともに禁煙支援を継続していきます。



③健康推進体制の強化

2024年度から産業医の駐在日数を増加し、保健師による大安工場滞在を定例化するなどの取り組みを行ってきました。2025年1月からは健康推進課を設置し、保健師を増員してさらに全社の健康増進を強化できる体制への整備を進めています。

このような取り組みの結果、2024年度から実施している従業員の健康経営満足度調査では、5段階評価で昨年の3.28が今年度は3.40と向上が見られました。そして、経済産業省と日本健康会議が共同で進める「健康経営優良法人（大規模法人部門）」に6年連続で認定され、上位500社に与えられるホワイト500にも初めて選出されました。また、三重とこわか健康経営カンパニー（ホワイトみえ）にも継続して認定されています。



今後も従業員の健康増進と働きやすい環境づくりに全社で取り組んでいきます。

(7) 安全な職場づくり

「安全は全てのものに優先する」を合言葉に、経営層による安全巡回、安全サークル活動、職場安全診断を始めとする物的対策・啓蒙活動を地道に気を緩めることなく継続しています。また、2017年には「安全道場」を開設し、従業員へ安全に関する体感教育を行っています。これらの施策の結果、操業以来「休業災害ゼロ」を継続しており、2023年5月15日には第五種無災害記録（3,550万時間）を達成しました。今後も愚直に安全活動に取り組み、「災害ゼロ」を目指します。

①安全指標（2024年度）

管理項目	目標	実績	評価
重大災害	0件	0件	○
休業度数率	0	0	○
出火事故	0件	0件	○
職業性疾病	0件	0件	○

②安全施策

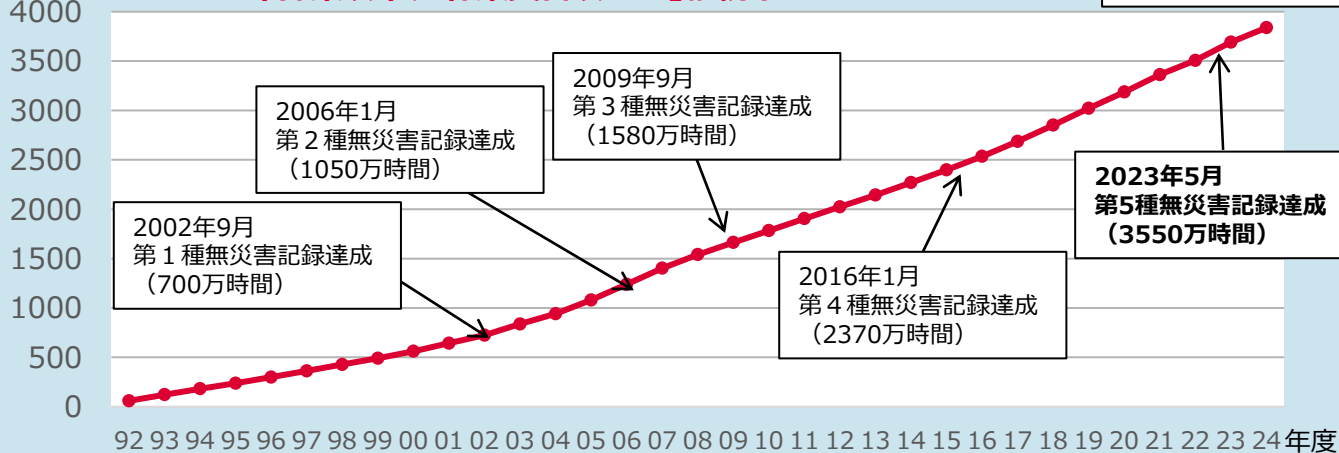
	20年	21年	22年	23年	24年
自発的に安全行動できる意識の浸透	3S 対話 3-3 安全日めくりカレンダー安全・歩行5訓の徹底				
	安全基本行動の教え込み				
	班長安全宣言 リスクアセスメント・リスク低減活動				
リスク先取りによる重大災害防止対策強化	公開段取 トップ層による確認				
	トップ安全・5S診断・環境重要設備巡回				
	重大リスク低減安全対策				
	クレーン / ロータリ点検 / 危険物 / レザ加工機				
マネジメントの強化	安全装置無効化防止対策 いじり防止ネジ装着				
	OSHMS全社活動 / 化学物質RA展開				
	ISO45001 取得(大安)				

③無災害時間（休業以上）

万時間

※1991年操業以来、「休業災害以上0」継続中

2025年3月末時点
3838万時間



経営層による安全診断
(公開段取り)



安全道場

5-2. 地域・社会とともに

関連するSDGs



(1) SDGs貢献活動

当社では、SDGsの達成に向けて、身近なことからSDGsにつながる活動を行っています。

①ファミリーオープンハウス実施 **TOPIC**

7月26日と8月2日に、ファミリーオープンハウスデーを開催しました。本社工場には10家族27名、大安工場には3家族8名の方にご参加いただき、職場見学やオリジナルバッグ作りを通じて、会社への理解や家族間のコミュニケーションを深める一日となりました。



ファミリーオープンハウス

②地域懇談会開催 **TOPIC**

10月31日に地元地域の皆様をお招きして、地域懇談会を開催しました。当日は会社の概況説明や工場見学を行いました。創業以来、地域に根ざした活動が続け、地元の人々と深い交流を続けております。今後も地域に根差し、地域社会から信頼・共感される企業を目指して、この活動を継続していきます。



地域懇談会

③交通安全ドリル寄贈 **TOPIC**

3月27日に、交通安全ドリル2種 合計1165セットを菰野町教育委員会様へ寄贈しました。寄贈したドリルは、近隣の小学校5校で交通安全啓発活動の教材として使用いただきます。当社は今後も地域の交通事故ゼロを目指し、継続して交通安全ドリルを寄贈していきます。



寄贈式

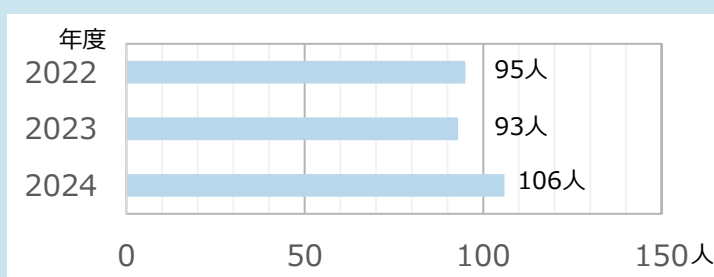


④「デンソーグループ・社会貢献活動」の取り組み

当社では、地域社会の一員として様々なボランティア活動を行っています。これらの活動を「デンソーグループ・社会貢献活動」の取り組みとして、今後も大切にしています。

献血活動

私たちの血液で命を救うことを実践するために、1995年より社内で献血活動を平日の勤務時間内に年2回（春・秋）実施しています。



SDGsコーナーの設置

2022年3月より、多くの従業員が集う本社食堂前と工場通用口付近に「SDGsコーナー」を設置しています。SDGsコーナーでは、SDGsに関する活動の紹介や、ちょボウの回収を行っています。また、その他の社内各所にも収集箱を設置しています。



本社食堂前 SDGsコーナー

-2024年度回収実績-

空き缶のプルトップ（2009年～）

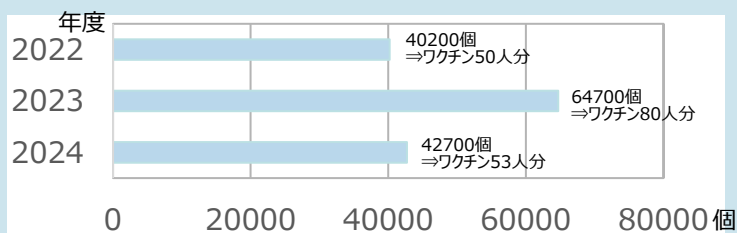
障がいのある子どもたちに車いすを贈るため、プルトップの収集を継続しています。自販機や各職場に収集箱を設置し、気軽にボランティア活動ができるようにしています。

約200kgのプルトップで車いす1台を贈ることができます。



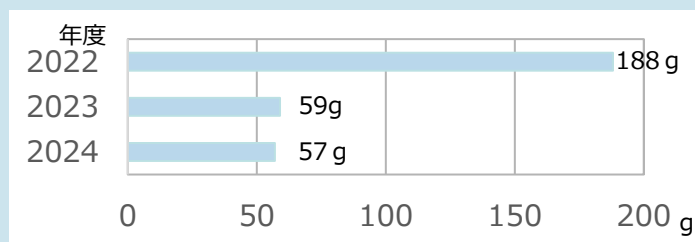
ペットボトルのキャップ（2010年～）

世界の子どもたちをワクチンで病気から救うために、ペットボトルキャップを収集しています。各棟に収集ボックスを設置し、確実に回収できるようにしています。満杯になると（2400個）、3人分のワクチンを購入することが可能となります。



使用済み切手（2013年～）

地域の福祉活動の推進に役立てていただくため、使用済み切手を収集しています。収集した切手は、菰野町社会福祉協議会を通じて福祉用品の贈呈に活用されています。

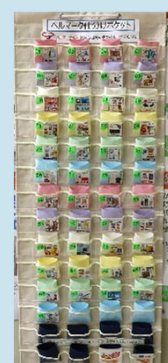


その他回収（2022年～）

書籍	・・・12冊
コンタクトレンズケース	・・・2.7キロ
テトラパック	・・・3.8キロ
ベルマーク	・・・782点
インクカートリッジ	・・・35個
テープ芯	・・・145キロ



テープ芯



ベルマーク

(2) 交通安全活動

当社では、交通安全行動を率先して実践できる社員づくりを目指し、地域社会の交通安全に貢献するために様々な活動を行っています。

また、全従業員が飲酒運転を含む悪質運転（デンソーグループでは飲酒運転、無免許運転、ひき逃げ、当て逃げ、暴走行為を悪質運転と定義しています）の根絶に努めています。社員一人ひとりが交通安全行動を率先して実践できるよう、努力を続けています。

実施項目		内 容
交通安全 教育・啓蒙	交通安全タッチ＆コール（毎日）	毎日朝礼時に各職場単位で交通安全10カ条の唱和を実施
	長期連休前交通安全メッセージ放送 （5月・8月・12月）	GW・夏季連休・冬季連休前の稼働最終日に社長からの交通安全メッセージを全社放送
	若年者安全運転講習（11月）	若年者の交通事故低減に向け、2023年度定期新入社員と25歳以下の正社員を対象に、外部講師による加害事故防止講習を実施
	従業員駐車場内減速バンプの設置（1月）	社内駐車場の事故防止と社員の安全意識を高めるため、減速バンプを設置
	「シートベルト推進モデル事業所」任命（12月）	四日市西警察署様より「シートベルト推進モデル事業所」に任命
通勤車両 管理	西門立哨（月1回）	当社西門にて通勤車両のルール・マナー状況確認し、指導を実施
地域活動	カーブミラー清掃（年1回）	交通事故防止のため、大強原・池底地区のカーブミラー清掃を実施



減速バンプ



社内トップ立哨



シートベルト推進モデル事業所任命式

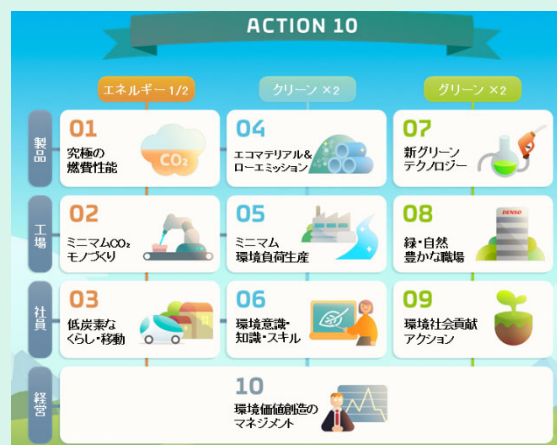
6. 環境報告

関連するSDGs



デンソーグループは、「人と地球にやさしいクルマ」の実現を通じて、「先進的なクルマ社会の創造」に貢献する企業グループを目指しています。そのため、製品や生産にとどまらず、事業活動のあらゆる分野で環境負荷を低減し、世界トップクラスの環境効率や高い資源生産性を追求しています。また、環境保全活動を通じて経済価値を創出する「環境経営」を推進しています。

当社では2016年から「次の10年」に向けた長期ビジョンである「デンソーエコビジョン2025」に基づき、デンソーグループ全体で「エネルギー1/2(省エネ)」、「クリーン×2(環境負荷低減)」、「グリーン×2(環境保全)」に取り組む、持続可能な社会の実現に向け、積極的に活動を展開しています。



〔デンソーエコビジョン2025〕

6-1. デンソートリム環境方針

(1) 理念

当社は鈴鹿山系の麓に位置し、緑豊かな環境に恵まれている。この美しい自然を健全な状態で次世代に引き継ぐよう積極的に「環境保全」に努める。

(2) 方針（骨子）

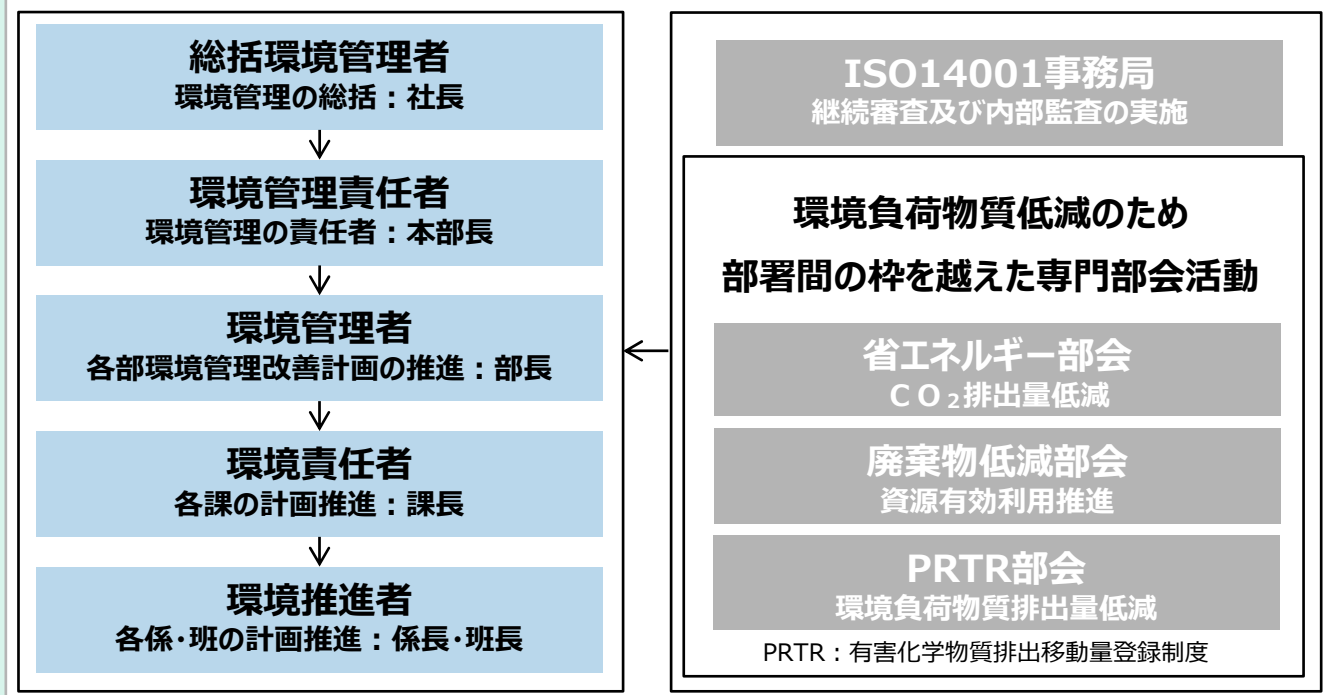
1. 法規順守と環境汚染の予防等により環境の継続的改善に努める。
2. 製品企画段階から排出物及びエネルギーの低減に取り組み、環境負荷を総合的に低減させる。
3. 環境教育・啓蒙活動を通じ、各業務段階で従業員一人ひとりの環境保全意識を高めていく。
4. 地域社会の一員としての自覚と責任をもち、社会との良好な共生関係を築く。
5. この環境方針は社内外へ公開する。

スローガン：「次世代へ引き継ごう、澄んだ空気と豊かな緑」

6-2. 環境推進体制

1999年10月に「デンソートリム環境管理組織」を設置し、会社全体として環境問題を審議し、統括する体制を構築しました。同時に、個別の課題を解決するために「専門部会」を設置し、取り組みの強化を図っています。

環境管理組織



6-3. 環境行動計画

(1) 2024年度の取組項目と実施事項

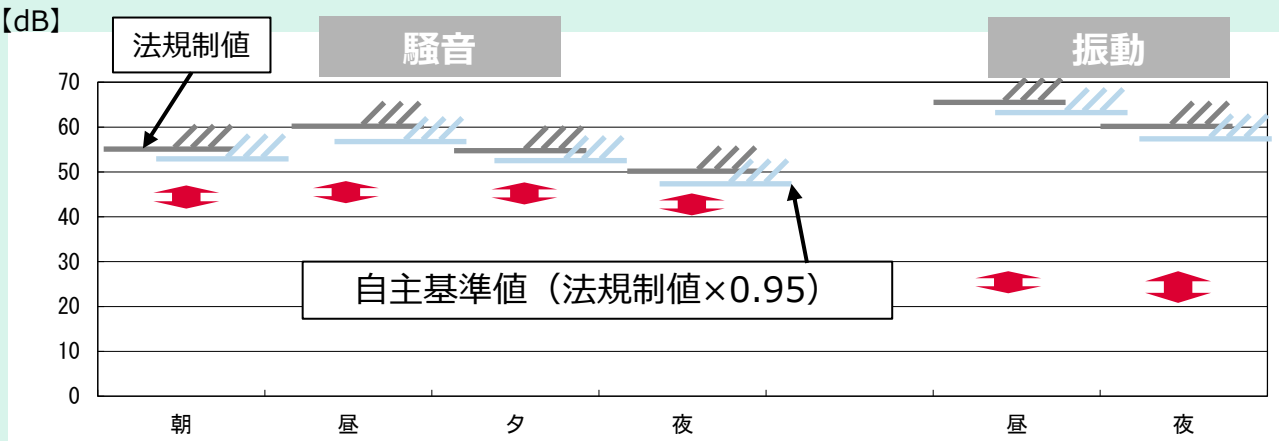
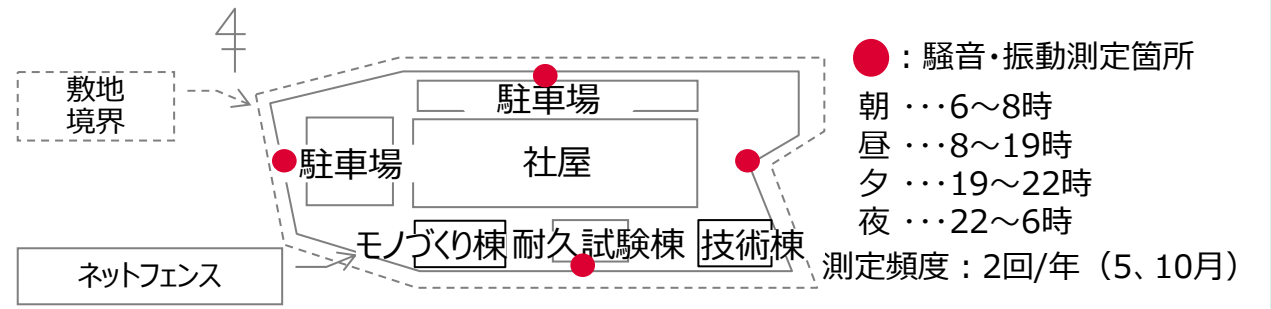
仕事の各段階で環境負荷低減を目指し、具体的な活動項目と目標を定めて、環境保護に取り組んでいます。

デンソー エコビジョン	項目	取組み方針	実施事項
究極の燃費性能	車社会における消費エネルギー製品の開発及び生産	低燃費に貢献する製品の設計及び製造	2輪車用アイドルストップ製品の開発及び生産 低燃費関連製品であるO2センサーやハイブリット関連製品の製造
ミニマムCO2モノづくり	生産CO2低減	省エネルギーの推進	目標：CO ₂ 原単位 12年度比▲35%
低炭素なくらし・移動	業務移動における化石エネルギー使用の低減	社有車更新・導入時エコカー導入	社有車ヘドライブレコーダーを装着 エコドライブの推進
エコマテリアル&ローエミッション	グローバル規模の環境負荷物質規制への積極的な切り替え推進	デンソーからの展開事項の順守	デンソー図面指示の順守100%
ミニマム環境負荷生産	排出物低減	排出物低減の推進	目標：前年度実績の維持
環境意識・知識・スキル	環境業務従事者の環境設備・作業リスクの知識・対応力強化	環境重要設備異常処置訓練実施 環境教育の実施	環境重要設備(2施設)の訓練実施 1回/年 従業員 2H/人 実施
環境価値創造のマネジメント	環境CSR情報の積極的な発信と地域社会等との双方向コミュニケーションの推進	環境コンプライアンス徹底	環境マネジメントシステムの運用改善 (ISO14001 認定更新) 法順守 100%

6-4. 法規順守状況

・騒音振動測定結果

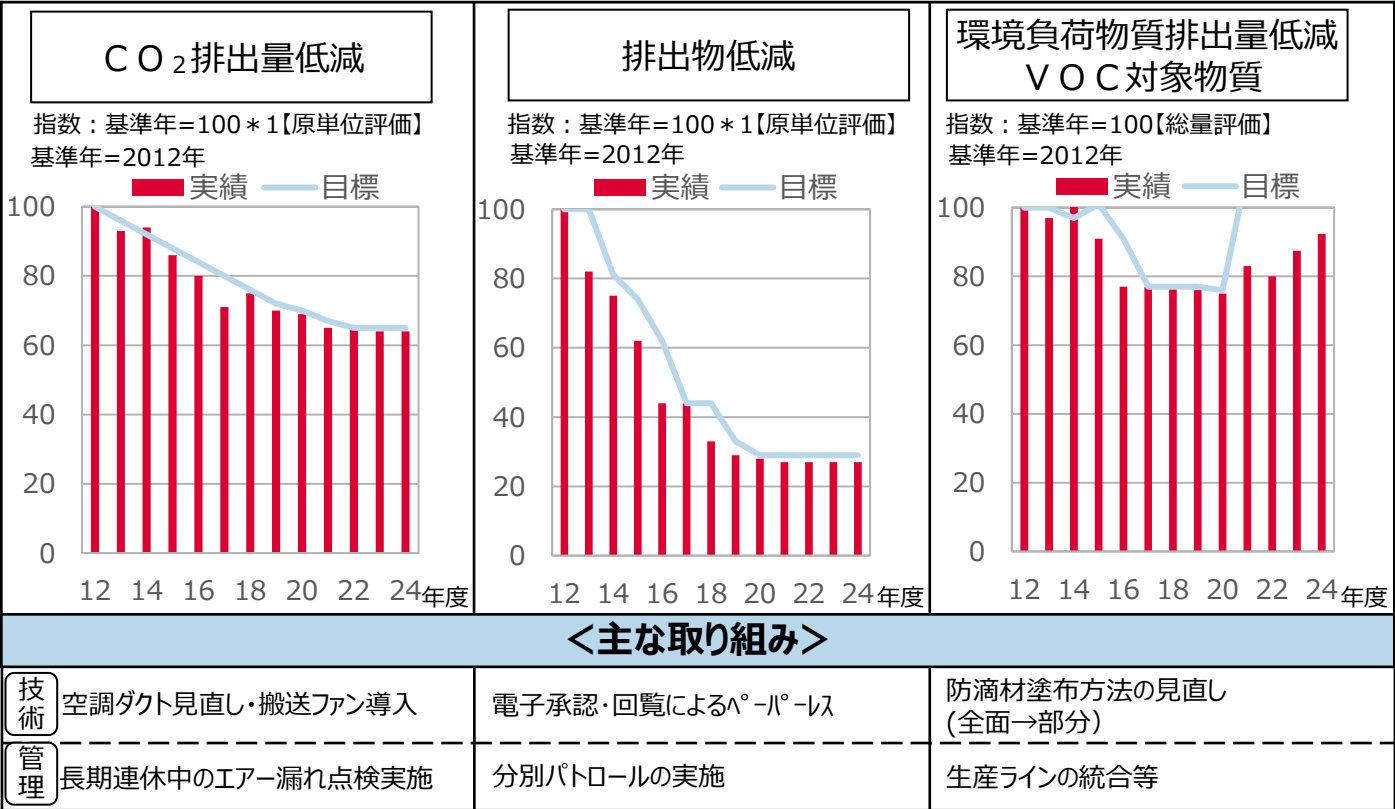
騒音、振動とも社内基準値以下の問題の無いレベルです。



6-5. 生産環境負荷低減

（1）生産環境負荷の低減活動状況推移について

継続的な改善活動で2024年度目標は達成しました。さらなる改善に取り組めます。



＊1【原単位評価】：生産金額1億円当たりの排出量
VOC：Volatile Organic Compounds（揮発性有機化合物）

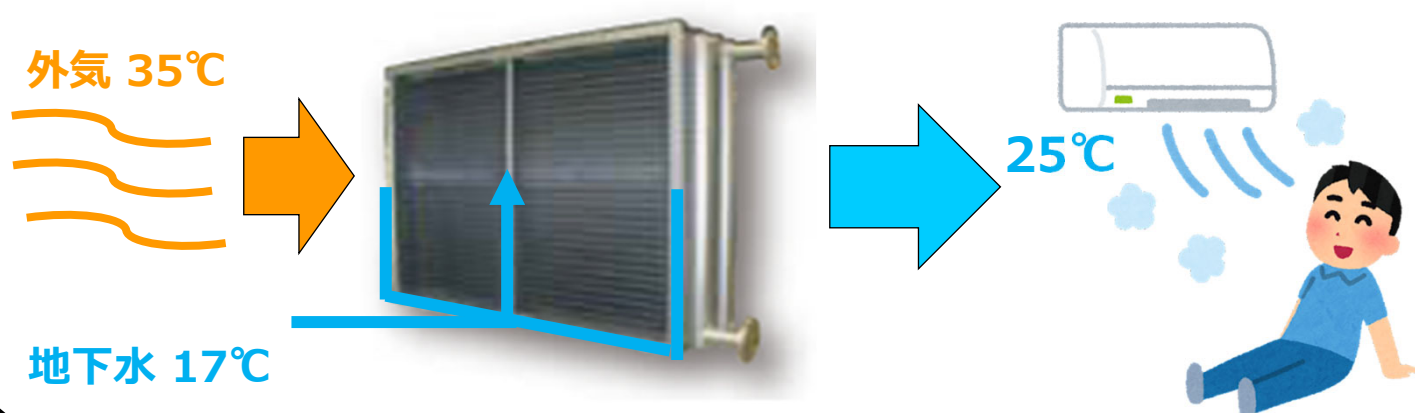
6－5．生産環境負荷低減

(2) 省エネ活動－熱マネジメントの強化推進

当社の使用電力のうち、約4分の1を空調電力が占めています。この空調使用電力の最小化を目指し、「徹底した熱マネジメントによる空調負荷低減」を進めてきました。その中でも、鈴鹿山脈の豊富な地下水を利用した地域特性を活かした『地下水空調システム』と『屋上散水システム』が、省エネに大きく貢献しています。

地下水空調システム

地下水空調システムは敷地内に井戸を設置し、一年を通じて水温が17℃の地下水をくみ上げ、ラジエーターへ通し、そこに外気を通過させることで空気を冷却させるシステムです。効果としては、▲44,606kWh/Y (▲1,378,000円/Y)



屋上散水システム

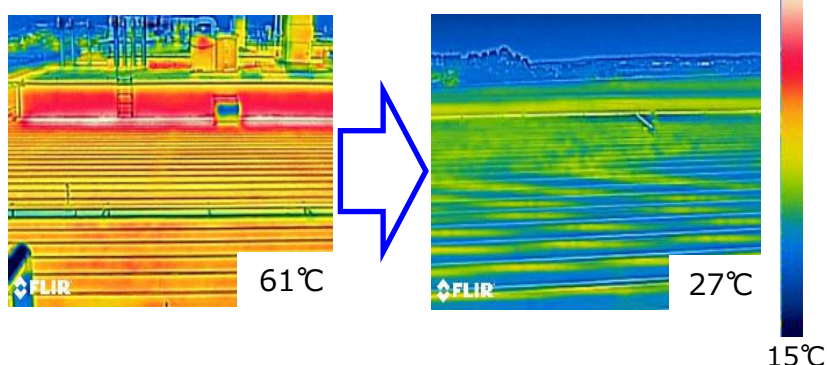
屋上散水システムは、地下水空調システムで使用した地下水を受水槽へ溜め、工場の屋根に散水することで屋根の温度上昇を防ぎ、工場内の気温低減し空調負荷低減へ繋がっています。

その効果は真夏日で ▲2,240kWh/D (▲36,736円/D)、
年間では▲205,835Wh/Y (3,396,628円/Y) となります。

スプリンクラーを使用して工場屋根へ満遍なく地下水を散水しています。



真夏日は屋根温度が▲34℃
室温効果は▲2～4℃



6－5．生産環境負荷低減

（３）創エネ活動－太陽光発電の導入

昨今、日本政府の2050年カーボンニュートラル宣言やデンソーグループの2035年カーボンニュートラル宣言など、外部環境が目まぐるしく変化しており、CO2排出量低減活動の重要性は日に日に増しています。そこで、当社はこれまでの「省エネ」活動に加え、新たにエネルギーを創出する「創エネ」活動にも焦点を当て、取り組んでいきます。

太陽光発電システム

本社工場・技術棟・モノづくり棟の屋上に太陽光発電を設置しました。特に本社工場については、積雪時に建屋の耐荷重が超過する恐れがあったため、これまで設置を見送ってきましたが、工場の空調負荷で低減のために使用していた『屋上散水システム』を活用して融雪を行うことで設置を実現しました。

また、工場と駐車場の間にはフェンス型太陽光発電設備も設置し、さらなる発電量の確保により、メガソーラ規模（約1MW）の発電設備を導入することができました。

その効果としては、年間▲1,181,824kWh（コストメリット：年間15,245,530円の削減）を見込んでおり、当社の年間電力使用量の約7%を賄うことが可能となりました。



本社工場屋上 太陽光発電



駐車場工場間 フェンス型太陽光発電



パワーコンディショナー

編集後記

当社では、2012年からC S R（企業の社会的責任）への取組みを報告すべく「C S R 報告書」を発行させていただいております。本冊子「C S R 報告書2025」では、「C S R マネジメント」「社会性報告」「環境報告」の各分野別に、2024年度の活動を中心に紹介させていただきました。

当社は今後も地域社会の一員として、環境・安全活動並びに社会貢献活動に積極的に取り組んでまいりますので、本報告書をご覧いただいた皆さまから忌憚のないご意見、ご指導を賜れば幸いに存じます。なお本報告書は、当社ホームページ（<http://www.densotrim.co.jp/>）に掲載しています。

また、当社はC S R 活動についても（株）デンソーと連結経営を行なっております。（株）デンソーの「統合報告書（<https://www.denso.com/jp/ja/investors/library/annual-report/>）」も併せてご覧下さい。

2025年 6月

発行者	株式会社 デンソートリム 〒510-1222 三重県三重郡菰野町大強原赤坂2460
発行日	2025年6月4日
お問合せ先	株式会社デンソートリム 人事総務部 総務室 TEL 059-391-0011 FAX 059-391-0050

株式会社 デンソートリム

DENSO TRIM CORPORATION



生産地の環境・健康・経済を持続的に守る
バナナペーパーへの印刷で作成しています。
当社はSDGsを意識した誠実な企業行動を
実践していきます。